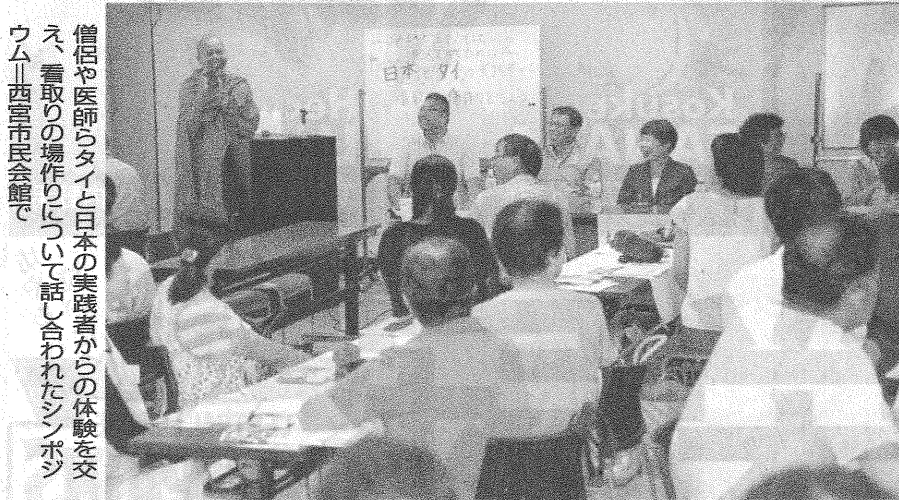


天気	
きょう	あす
6時	9 12 15 18 21 24
尼崎 31 24	30 23
神戸 31 24	30 23
三田 30 19	29 18

週間天気	
尼崎	
13日(火)	29 23
14日(水)	29 23
15日(木)	27 23
16日(金)	28 22
17日(土)	27 22
神戸	
13日(火)	29 23
14日(水)	29 23
15日(木)	27 23
16日(金)	28 22
17日(土)	27 22

のち 5ミ以上
一時々々 5ミ未満
数字(上)最高気温
(下)最低気温
丸囲みは降水確率
白ヌキは50%以上
△は正午の風向き
矢印なしは無風



僧侶や医師らタイと日本の実践者からの体験を交え、看取りの場作りについて話し合われたシンポジウム―西宮市民会館で

最期まで 心豊かに

タイの医師、僧侶招きシンポ

西宮市六湛寺町の西宮市民会館で10日、シンポジウム「このまちで生き、そして、死んでゆくために―日本とタイの実践者から看取りの場作りを考える」が開かれた。約50人が参加し、よりよい介護や死の迎え方について語る医師や僧侶らの話に聴き入った。

【高尾真成】

西 宮

トヨタ財団の支援を受け、日本とタイの介護実践を学び合うプロジェクトの主催。プロジェクト代表の古山裕基さん(44)は「死は自然なものであることをタイを映し鏡に考えていきたい」とあいさつ。続いてタイのタンティップ医師が、タイの地方の公立病院と周辺社会で実践したケースを紹介。

良品廉価
創設60年
古き老舗
広瀬佛壇店
西宮市六湛寺町2-1
☎(0798)22-7734

介。「病院にかかる前に薬草治療やマッサージなど地域の潜在力を生かした。病院と患者の関係は助け合う友人のようになった」と語った。

また、寺住職のウイリヤ師は、看取りに立ち会う僧侶の重要性を説明。「死期の近づいた患者だけでなく、患者の家族を落ち着かせ

る役目も担います」と述べた。さらにコンケン大看護学部のオラサ―教授は「死を学ぶことができる」と述べ、西宮市内の難病「筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者との交流にも触れた。

話を聞いた参加者は「心豊かに死んでゆくためにできそうなことなどを話し合った。